

# 1. 評価結果概要表

**【評価実施概要】**

事業所番号	270301534		
法人名	株式会社 河原木電業		
事業所名	グループホーム智水寮		
所在地 (電話番号)	〒031-0801 青森県八戸市江陽2丁目18番8号 (電話) 0178-22-0011		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 10月 2日	評価確定日	平成 19年 11月 29日

【情報提供票より】(平成 19年 9月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	6人, 非常勤 4人, 常勤換算 7.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2階建ての 1階 ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	800 円	その他の経費(月額)	12,000~冬季18,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

(4) 利用者の概要( 9月 1日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	3名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 84.6歳	最低	73歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	シルバー病院・近藤歯科医院・なかざわ整形外科・むらかみ脳神経外科・ きむらクリニック・はちのへ99クリニック
---------	---

**【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】**

事業所は町の中心部近郊にあり、近隣との交流を図れるよう努めている。利用者 の人居の際は何度も見学や打ち合わせを行い、職員の異動の場合には、職員間 の引継ぎを密にとり利用者へのリロケーションダメージを最小限になるよう配慮さ れている。
---

**【重点項目への取り組み状況】**

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回、要改善点は特になし。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価を十分に理解し、自己評価を職員全体で取り組むと共に、毎回改善計画書を作成し、サービスの向上に努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等(改善計画書取組状況)について報告し意見を求め、評価結果を踏まえた内容を基にモニタリング効果が見られる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>電話連絡や面会時など随時近況報告を行い日頃より要望、不満、苦情等何でも言ってもらえる環境を整えるよう努め、苦情対応マニュアルも整備され、サービスに反映させていく具体的な取り組みが行われている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域交流委員の活動を踏まえ、近隣保育所との交流、地域清掃を行い、近隣住民との出会いの機会を作っている。町内会に参加し地域の発信源となり地域交流に努めている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームの役割を職員全員で理解し、独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議等で理念について話し合い共有を図っている。また、朝礼時に唱和を行い、理念を浸透させ日々の実践に努めている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域交流委員の活動を踏まえ、近隣保育所との交流、地域清掃を行い、近隣住民との出会いの機会を作っている。町内会に参加し地域の発信源となり地域交流に努めている。また、近隣へ徘徊者の保護や行方不明者(グループホーム利用者)が出た場合等の協力を呼びかけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価を十分に理解し、自己評価を職員全体で取り組むと共に、毎回改善計画書を作成し、サービスの向上に努めている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等(改善計画書取組状況)について報告し意見を求め評価結果を踏まえた内容を基にモニタリング効果が見られる。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所の実情や相談等の内容を折りに触れ伝えており、地区の協議会等にも協力してもらい、積極的な連携が図れるように取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>対応が必要と思われる利用者には随時、関係者と話し合いを行い支援している。会議等では折に触れ全職員への理解を図っている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部の研修等などに積極的に参加しスタッフへ伝達し周知を図っている。常に職員間で意識し防止に努めている姿勢がうかがえる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には事業所のケアに関する考え方や取り組み、退居を含めた事業所の対応可能な範囲について説明を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>健康状態、金銭管理等について毎月ホーム便りとして郵送し報告を行っている。また、電話連絡や面会時などに随時報告を行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃より要望、不満、苦情等何でも言ってもらえる環境を整えるよう努め、苦情対応マニュアルも整備され、サービスに反映させていく具体的な取り組みが行われている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はないが離職の場合は、馴染みの対応の重要性を理解し、引継ぎには十分期間を費やし利用者へのダメージが最小限になるよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修へは多くの職員が受講できるように計画している。勉強会などで伝達研修を行い、職員間の共有が図れるように対応している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修・勉強会等参加する機会を持ち、また、同業者との交流会(合同忘年会や納涼祭等)を通じて新たな気づきを得てサービス向上に繋がるように努めている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族に事業所を見学してもらいながら説明をし、情報の収集を行いながら早く馴染めるように努めている。		
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する側、される側という意識を持たず、本人の馴染みの作業を通じ、お互いが協働しながら和やかな生活ができるように場面づくりをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人・家族から希望等の情報を得たり、日常のかかわりの中で意向を理解すると共に、意思疎通等が困難な場合は家族等から情報を得て本人本位に近づよう努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者が自分らしく暮らせるよう本人や家族の要望を反映させて、3ヶ月ごとにケース会議を行いケアプランの見直しを行い、画一的になることなくスタッフが協働して個別の介護計画が作成されている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>実施期間を明示するのはもとより、実施期間終了後は評価し見直しを行っている。利用者の状態変化時は終了する前であっても随時見直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努力している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を取り入れ、適切な医療を受けられるように支援している。また、かかりつけ医と事業所の関係が築かれている。必要に応じ家族を交えながら情報交換や相談等を行うことができる。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事前に事業所の対応できる最大のケアについて説明し、状況の変化のたびに家族の気持ちの確認や本人の思いに注意を払いながら、支援につなげている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会等で職員の意識向上を図ると共に、日々の関わりに関してもスタッフ間で振り返り、利用者の尊厳、個人情報の保護に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家事やレクリエーション、買い物や散歩等、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立は個々の状態や好みにも配慮し、調理の準備や後片付け等を利用者と共に行い、職員と利用者が一緒に食事をし、食べこぼし等をさりげなくサポートしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴する曜日は決まっているが、入浴する時間、順番等を確認しながら本人が安心して満足感が得られるよう支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個々の生活の中で家事等、意欲的に活動できるよう努め本人が喜びを持てるような生活への配慮がなされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>個々のニーズや気分、体調に合わせて散歩やドライブ、買い物、畑仕事等が日常的に行われている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修へ積極的に参加し、知識を深めると共に勉強会の開催や伝達を行い、職員間での意識向上に努めている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>利用者が外出をしそうな様子を察知したら止めるのではなく、さりげなく声をかけたり一緒に付き添い安全面に配慮し、自由な暮らしを支えるようにしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練を定期的実施し、地域の協力が得られるよう働きかけている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分の摂取状況をチェックし把握している。定期的に栄養士等のアドバイスをもらいケアに反映させている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染予防マニュアルの作成・確認を行い、内部研修を行うことで、スタッフ全員が知識を深め予防に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間が不快にならないよう配慮し、季節に応じた装飾や花などを飾り、本人の好みの場所を確保し、居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具や寝具等を用意してもらい、本人の過ごしやすい、居心地のよい環境作りへの配慮がされている。</p>		

 は、重点項目。